



「ココが知りたい」。国際協力に関係する
 いろんなトピックを分かりやすく解説します!

2 011年3月以降、反体制派と政府軍との間で衝突が続くシリア。これまでに死者は約10万人を超え、周辺国に逃れた難民は約200万人、国内で避難生活を送る国内避難民は約425万人に達している。

安倍総理は国連総会の一般討論演説で、「罪のない市民が犠牲となり続ける状況に、怒りを覚えざるを得ない。この先に厳しい冬を控え、難民たちの絶望が増す今、日本はシリア

アとその周辺国に対して約60億円の人道支援を実施する」と表明した。具体的には、まずは国際機関を通じて約28億円の支援を行い、難民・国内避難民に対して食料や救済物資を配布、水・衛生状況の改善に早急に着手する。

国際社会の助けが届きにくい反体制派の支配地域においても、医療セクターのスタッフへの訓練や医療機材を提供する。

多くの難民を受け入れているヨルダン政府とレバノン政府に対しては、それぞれに約10億円と約8億円を上限とする二国間の支援を実施。難民キャンプで緊急に必要とされる物資や医療機材など日本製機材の調達に充てられる予定だ。

この演説を通じて、国際社会との協力をより強化することを強調した安倍総理。シリア情勢の他にも、差別や暴力に直面する女性たちへの支援を重視する意向も示した。

JICA専門家として約15年、母子保健サービスの向上に努めた佐藤都喜子さんなどを例に挙げ、「日本の内でも、紛争下の地域、貧困に悩む国々でも『女性が輝く社会』をもたらしたい」と強調した。

これを踏まえ、女性の社会進出を促すための能力強化、母子保健など保健医療の強化、平和と安全保障分野における女性の参画と保護を三本柱に据え、今後3年間で約3000億円超の政府開発援助(ODA)を実施することを表明した。



安倍総理の演説で「女性の活躍の象徴」として紹介された佐藤さん(左)。ヨルダンでは現地の保健省の職員たちと保健医療サービスの改善に奮闘。「プロジェクトは相手あってこそ。これだけはぶれなかったですね」

国際会議

「第68回国連総会」

シリア難民支援と女性が輝く社会の実現

安倍晋三内閣総理大臣は9月24~27日、「第68回国連総会」に出席するためニューヨークを訪問した。



首都:ダマスカス
 面積:18.5万km²(日本の約半分)
 人口:2,082万人(2011年)
 言語:アラビア語



第68回国連総会で演説する安倍総理(内閣広報室提供)



サイドイベントに登壇した安倍総理と岸田外務大臣



エチオピア・アムハラ州の病院で診察を待つ母子。日本は世界各地でUHCの普及につながる協力を実施(撮影:久野武志)

日 本政府は9月25日、国連総会のサイドイベントを主催。2015年に達成期限を迎える「ミレニアム開発目標(MDGs)」に続く「ポスト2015年開発アジェンダ」におけるユニバーサル・ヘルズ・カバレッジ(UHC)の役割について議論を交わした。

UHCとは、全ての人が必要な時に負担可能な費用で、基礎的な保健医療サービスを受けられること。安倍晋三内閣総理大臣は冒頭のあいさつで「早くから国民皆保険を導入し、保健医療に支えられた高度経済成長を遂げてきた日本だからこそ、ポスト2015年開発アジェンダではU

「第68回国連総会サイドイベント」

すべての人に保健医療サービスを届けたい!

HCCの主流化を推進していきたい」と述べた。クラーク国連開発計画(UNDP)総裁、キム世界銀行総裁、チャン世界保健機関(WHO)事務局長などは、開発におけるUHCの重要性を訴えるとともに、保健分野における日本のリーダーシップに対する高い評価と期待を表明した。

続いてのセッションでは、国際機関やNGOの代表者たちが集い、今後、UHCをどのようにポスト2015年開発アジェンダに位置付けていくかについて議論。最後に岸田文雄外務大臣が総括を行い、「人間の安全保障およびそれを具現化するUHCは重要」と述べた。

国際会議

世界

世界各地で国際協力に取り組む日本人を写した写真展「世界で輝く日本人」(外務省主催)が、10月5、6日の「グローバルフェスタJAPAN2013」(東京・日比谷公園)で開催された。5日には表彰式が行われ、俳優の佐藤隆太さんらが、優秀作品を表彰した。

この写真展では、国際協力の活動に取り組む日本人や日本の団体(NGO・企業・公的機関など)の作品を展示。約190点の応募作品の中から選ばれた秀作を展示した。元氣あふれる活動の様子を表現した「はつらつ賞」には、茂田敬介さんと認定N

イベント

写真展「世界で輝く日本人」 途上国で奮闘する日本人の姿を伝えたい!

PO法人難民を助ける会が、地道な活動の様子を写した「はつらつ賞」には、岡村匠さんと認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーンがそれぞれ選ばれた。また、「グローバルフェスタ協賛企業特別賞(H.I.S.賞)」には、バヌアツで活動する青年海外協力隊員を写した小寺英治さん、母子保健事業を実施するネパールの村で聞き取りを行う様子を写したNPO法人AMDA社会開発機構の作品が選ばれ、副賞として「アジアアトラニックエアラインズで行く!パンコク往復航空券」が贈呈された。

はつらつ賞



茂田敬介さん



難民を助ける会

ひたむき賞



岡村匠さん



パレスチナ子どものキャンペーン

協賛企業特別賞(H.I.S.賞)



小寺英治さん



AMDA社会開発機構